

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名 一般国道18号高崎安中拡幅 <small style="font-size: 0.8em; color: gray;">たかさきあんなかかくふく</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点 自：群馬県高崎市上豊岡町 <small style="font-size: 0.8em; color: gray;">ぐんまけんたかさきし かみとよおかまち</small> 至：群馬県安中市安中四丁目 <small style="font-size: 0.8em; color: gray;">ぐんまけんあんなかし あんなかよんちようめ</small>				延長 6.0km
事業概要 国道18号は、高崎市から安中市・上田市・長野市等の主要都市を通過し上越市に至る総延長220kmの主要幹線道路である。高崎安中拡幅は、高崎市～安中市の交通渋滞の解消や交通安全の確保を目的に計画された、延長6.0kmのバイパス及び現道拡幅事業である。				
S58年度事業化		S59年度都市計画決定		S60年度用地着手
H元年度工事着手				
全体事業費		約412億円		事業進捗率
		97%		開通済延長
				5.4km
計画交通量 35,400～54,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C <small style="font-size: 0.8em; color: gray;">(事業全体)</small> 1.4 <small style="font-size: 0.8em; color: gray;">(残事業)</small> 12.9	総費用 <small style="font-size: 0.8em; color: gray;">(残事業)/(事業全体)</small> 20/718億円 (事業費：16/700億円) 維持管理費：3.9/18億円	総便益 <small style="font-size: 0.8em; color: gray;">(残事業)/(事業全体)</small> 261/1,008億円 (走行時間短縮便益：228/937億円) (走行費用減少便益：22/61億円) (交通事故減少便益：11/9.3億円)	基準年 平成26年
感度分析の結果 【事業全体】 交通量：B/C=1.1～1.8（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.3～1.6（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.3～1.5（事業期間±20%） 【残事業】 交通量：B/C=10.7～15.4（交通量 ±10%） 事業費：B/C=11.8～13.9（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=12.1～13.6（事業期間±20%）				
事業の効果等 ①交通混雑の緩和 ・下野尻交差点～城下交差点の2車線区間で速度低下が発生。 ・高崎安中拡幅の整備により、交通の円滑化が図られ、混雑緩和が見込まれる。 ②安全性の向上 ・当該区間では、交通混雑が一因とされる追突事故が多発。 ・高崎安中拡幅の整備により、交通混雑の緩和が図られ、交通事故の減少が見込まれる。 ③救急医療の支援 ・高崎安中拡幅は、平成7年度より順次開通。安中市街から高崎総合医療センターへの所要時間が47分⇒26分へ約21分短縮される。 ・高崎安中拡幅の整備により、救急医療支援へのさらなる寄与が期待される。				
関係する地方公共団体等の意見 群馬県知事の意見：高崎安中拡幅は、国道18号の渋滞解消、交通安全確保のための重要な事業であるため、現道拡幅部（延長0.6km）の早期4車線化を図られたい。計画区間西側の2車線区間となっている安中市街地は、主要渋滞対策箇所に特定されており、慢性的な渋滞が発生しているとともに、交通需要の増大が見込まれる県事業の西毛広域幹線道路の整備を進めていることから、西毛広域幹線道路との交差点部まで事業区間延伸の検討をお願いしたい。また、コスト縮減を徹底し、効率的、効果的に事業を推進されたい。				
事業評価監視委員会の意見 事業の継続を承認する。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・高崎安中拡幅の整備により、沿線には多くの商業・工業施設が立地している。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・昭和58年度に事業化後、平成9年度に高崎市上豊岡町～安中市板鼻間 延長2.2km（4/4）開通。 ・平成18年度に安中市板鼻～安中市宿間 延長2.4km（4/4）開通。平成27年度に安中市宿～安中市安中五丁目間 延長0.8km（4/4）開通。 ・現道拡幅部 延長0.6kmは、4車線化工事のための用地買収に向け、地元、関係機関等と調整中。 ・用地進捗率95%、事業進捗率97%（平成29年3月末時点）				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成27年度に、バイパス部（橋梁工事） 延長0.8km（4/4）開通。 ・現道拡幅部 延長0.6km区間は、4車線化工事のための用地買収に向け、地元、関係機関等と調整中。				
施設の構造や工法の変更等 ・新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。				

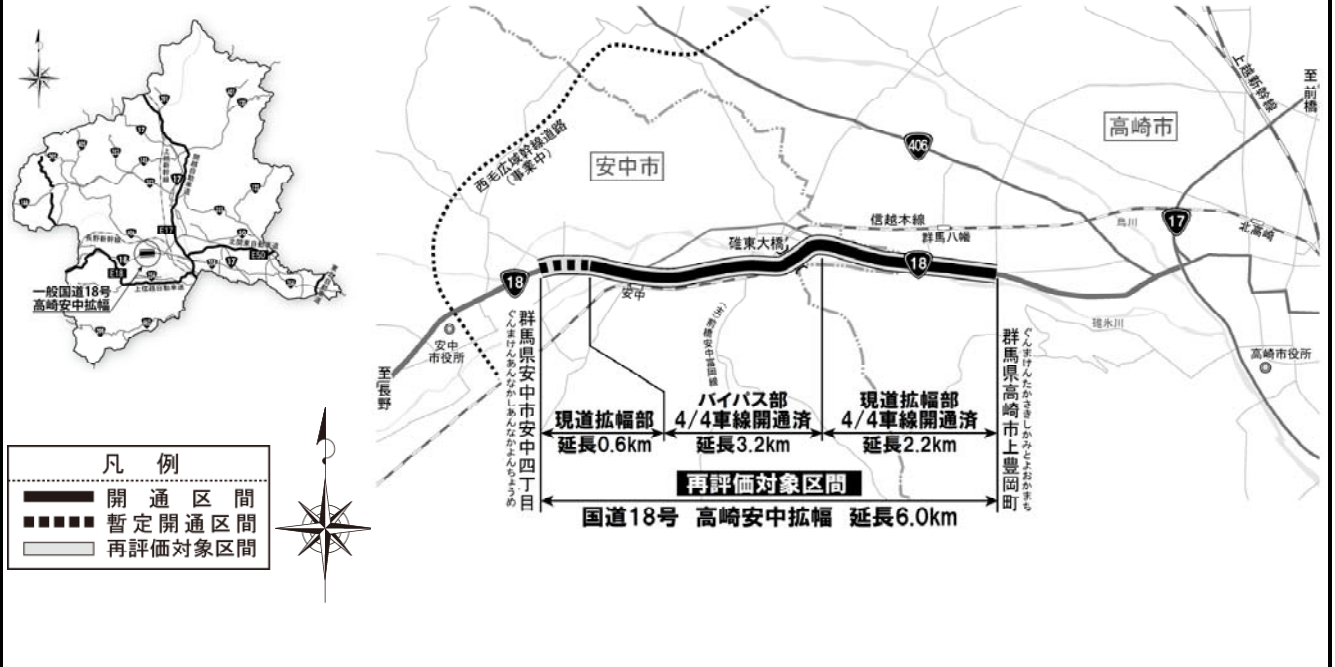
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。